

# 2025 夏休みにすすめる本

## 5・6年生のみなさんへ

ちょうかいさん  
**鳥海山の空の上から**

三輪裕子作 小峰書店

表紙画像は  
掲載できません

東京に住む5年生の翔太は、秋田県鳥海山のふもとの町に住む、親戚の波江おばさんのところで過ごすことになります。一人で、上野駅から夜行寝台列車に乗りこみ…。

めいたんてい  
☆ **名探偵カッレ城跡の謎**

リンドグレーン作 岩波書店

表紙画像は  
掲載できません

カッレの親友、エヴァロッタの家に、エイナルおじさんが来ました。おじさんは、夜中に家を抜け出すなど何かとあやしい人物です。カッレはその謎を探ろうとします。

**動物たちが教えてくれる  
海の中のくらし**

佐藤克文文 木内達朗絵 福音館書店

表紙画像は  
掲載できません

動物に装置をつけて動物の生活を直接観察する「バイオリギング」。この方法で、今まで知られていなかった動物たちの海の中でのくらしが明らかになりました。

せいかつずかん  
**生活図鑑**

おちとよこ文 福音館書店

表紙画像は  
掲載できません

みなさんは、料理や洗たくやそうじが一人でできますか？この本を読むと、生活していくために必要な衣・食・住についてのことがよく分かります。

☆はシリーズがあるもの

📖はデジー図書・📖はマルチメディアデジー図書の所蔵があるもの

デジー図書とは、1冊の本をまるごと録音した音声版の本のことです。マルチメディアデジー図書とは、パソコンやタブレットで音声を聞きながら、画面上の文字や絵を見ながら一緒に読める本のことです。市立図書館では、文字の読み書きに困難のある人に貸し出しています。

おうちの方へ

ここに紹介する本は、調布市内の読書指導を研究する先生方と図書館の協力で、実践の中から選んだものです。

刊行物番号 2025-67

令和7年7月7日 発行

表紙画像は  
掲載できません

表紙画像は  
掲載できません

表紙画像は  
掲載できません

調布市立小学校  
教育研究会図書館研究部  
調布市立図書館

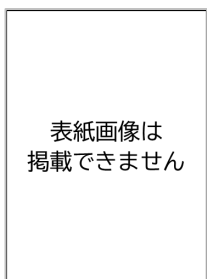
表紙写真は  
『人魚の夏』(あかね書房)  
『夏のサンタクロースーフィンランドのお話集』  
(岩波書店)  
『生まれかわるヒロシマの折り鶴』(汐文社)  
より

バンビー森に生きるー  
ザルテン作 福音館書店



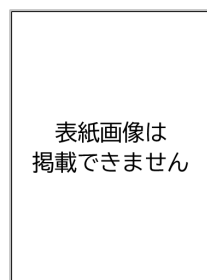
自然豊かな森の中で生まれた、ノロジカの子バンビ。母さんや森の動物たちから、生きることの喜びと厳しさを学び、成長していきます。長く読み継がれている名作です。

海べのあさ  
マックロスキー文・絵 岩波書店



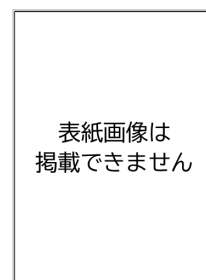
サリーはある朝、歯がぐらぐらしているのを見つけて驚きます。美しい海辺の自然の中で暮らす、一家のできごとをえがいた絵本です。

☆ ツバメ号とアマゾン号 上・下  
ランサム作 岩波書店



ウォーカー家の 4 人兄弟は、小さな帆船「ツバメ号」を操り、子どもたちだけで無人島で過ごすことになりました。冒険いっぱいの夏休みの始まりです。

ふたりのイーダ  
松谷みよ子著 講談社



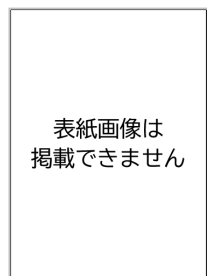
おかあさんのいなかで、直樹とゆう子は「イナイ、イナイ、ドコニモ…イナイ…」と、つぶやきながら歩く奇妙ないすを見かけます。

☆ かはたれ  
朽木祥作 福音館書店



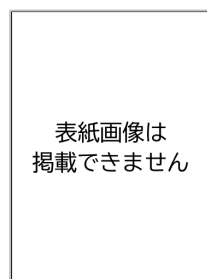
河童の子ども八寸は人間のくらしを知るために、小さな猫に姿を変えて町の公園にやってきました。そこで母をなくしたばかりの少女麻と出会います。

火の鳥ときつねのリシカ  
—チェコの昔話—  
木村有子編訳 岩波書店



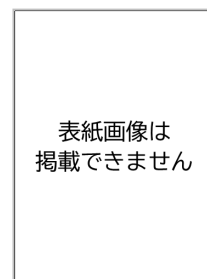
王さまに火の鳥をつかまえるよう言われた王子。きつねのリシカに助けられながら、火の鳥をめざしていくつもの試練をのりこえます。チェコの昔話が24話入っています。

虫はごちそう！  
野中健一著 小峰書店



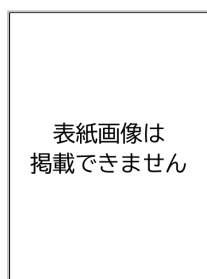
イナゴ、イモムシ、スズメバチ…いろいろな虫が、日本で、そして世界中で、食べられています。食べられる虫、虫の採り方、虫を食べる人々の暮らしを見てみましょう。

夏のサンタクロース  
—フィンランドのお話集—  
スヴァン作 岩波書店



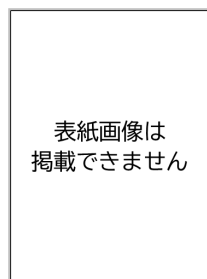
ペッカとユツシは、サンタクロースの魔法のブーツを取り返すため、森の魔物のところに行きます。ところが、魔物は岩のなかにかくれてしまい、困った二人は…。美しい13編のお話です。

生まれかわるヒロシマの折り鶴  
佐藤真澄著 汐文社



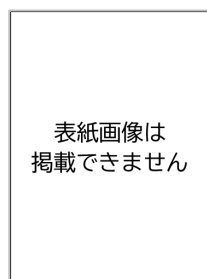
広島「原爆の子の像」には、1年で約10トンの折り鶴が捧げられます。折った人々の思いを尊重し、折り鶴を再生紙にして生かすことにしますが、そこには多くの困難がありました。

人魚の夏  
嘉成晴香作 あかね書房



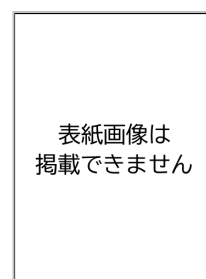
知里は、転校生の夏から自分是人魚だと打ち明けられます。知里のクラスでは、合唱コンクールの練習をしますが、夏は歌おうとしません。人魚が歌うと、風がくるということです。

絵物語古事記  
富安陽子文 山村浩二絵 偕成社



日本最古の歴史書『古事記』に収められている個性豊かな神々の物語です。「ヤマタノオロチ」、「稲羽の白うさぎ」などのお話が、全ページ挿し絵入りで楽しめます。

5 番レーン  
ウンソホル作 鈴木出版



水泳部のエースで6年生のカン・ナルは、最近ライバルのキム・チョヒに負けてばかり。夏休みの練習試合でチョヒに負けたナルは、だれもない更衣室でチョヒの水着を見て、思わず…。

☆はシリーズのあるもの